



笑顔あふれる冬休みを

～「やる気・根気・勇気(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子～

校長 南館義孝

12月12日、八戸に積雪10cmを超える雪が降りました。柏っ子は、中休みや昼休み、校庭に出て大喜びです。水分を含んだとても固まりやすい雪で、「雪玉がとても重いです。」と言いながら、友達と協力しながら雪だるまや大玉を作って楽しみました。校庭には、あつという間に、雪だるまなどの大きな作品が30個以上も出来上がっていました。

柏っ子は、12月23日から来年の1月14日まで、23日間の冬休みを迎えます。寒さがこれから本番ですので、インフルエンザにも気を付けながら、健康管理に十分気を付けて過ごしてほしいと思います。そして、冬休み中も、「やる気・根気・勇気」を自分の心の中で育て、あふれる笑顔で三学期を迎えることを職員一同願っております。

◆ 幼児教育の理解を深める「園の参観」

11月中旬から12月上旬にかけて、本校の教員が、柏崎地区にある6つの園（むつみ保育園・類家保育園・みどり幼稚園・イメルダ幼稚園・聖アンナ幼稚園・八戸幼稚園）に3人ずつ訪問しました。昨年度から始めた「園の参観」ですが、今年は、園の希望により、地域学校連携協議会委員の皆様も一緒に参観しました。また、参観だけではなく、園の指導内容を教えていただく時間も設けてもらいました。園を参観した教員からは「文字の組み合わせの活動で、遊びの中で興味をもって夢中に取り組んでいる姿がみられた。子どもの意欲を喚起させる投げかけは、どの発達段階でも共通であると感じた。」とか「小学校への接続を意識した指導を行っていた。自分のことを言うようにすることを目標としている、との話を伺った。」という感想がありました。園の子どもの姿、そして教育・保育内容の話合いを通して、幼児教育の理解を深める訪問となりました。



◆ 柏っ子と地域の皆様と話し合った「校外子ども会」

12月15日(金)、校外子ども会を行いました。この会は、町内会の子ども会ではなく、学校が校外(地域)で安全に楽しく生活することを目的に、学校と地域が連携・協働して町内ごとに組織している会です。冬休み前の今回は、5年生が「総合的な学習の時間」にフィールドワークで学んだ危険な場所・安全な場所を「安全マップ」として発表しました。そして、クイズ形式や寸劇形式にして分かりやすく説明しました。また、柏崎地区連合町



内会の尾崎会長をはじめ28名もの地域の皆様が参加し、柏っ子と一緒に危険な場所や遊びを確認しました。町内の皆様からは、「子どもたちは集中して聞いていた。5年生はきちんと調べていて、知らないことがあって勉強になった。」「1年生の時から見えたので、立派に発表する姿を見て、成長を感じることができてうれしかった。」という、ありがたい感想をいただきました。